

日本学生支援機構 貸与奨学金

重要

「奨学金継続願」の提出手続きについて

(入力)

■はじめに

「奨学金継続願」は、学業を続けていくために奨学金が継続して必要か否かを、あなた自身が判断し、提出(入力)するものです。「貸与額通知」の内容を確認し、貸与奨学金は返還する義務があることを十分自覚したうえで、スカラPSから「奨学金継続願」を提出(入力)してください。

1. スカラPSから「貸与額通知」の内容を確認してください。

人的保証の方は、連帯保証人・保証人にも内容を確認してもらってください。また、未成年の方は、親権者の方にも内容を確認してもらってください。

2. 学校の指示に従って「奨学金継続願」の提出(入力)手続きをしてください。

令和2年4月以降も奨学金の継続を希望する方は、スカラPSに登録・ログインし、「奨学金継続願提出画面」から、「奨学金継続願」を必ず提出(入力)してください。

令和2年4月以降の奨学金の継続を希望しない方は、「奨学金継続願」の入力の際に、「奨学金の継続を希望しません」を選択してください。

■「奨学金継続願」の提出(入力)期間について

来年度から実施される修学支援新制度に申込みをしている方または申込み予定の方も、採用になるとは限らないので、必ず提出(入力)してください。

提出(入力)開始	令和 元 年 12 月 13 日から(※)
提出(入力)締切	令和 2 年 1 月 10 日まで(※) (事前に学校に確認のうえ、日付を記入してください。)
入力時間	8:00~25:00

「奨学金継続願」は、学校が指定する提出(入力)期間内に、必ず提出(入力)しましょう。

※土日祝日も提出(入力)できます。ただし、令和元年12月28日から令和2年1月5日は、年末年始のため提出(入力)ができません。



未提出者は廃止

「奨学金継続願」を未提出のまま提出(入力)期限を過ぎると、継続する意思がないと判断され、適格認定は「廃止」となり、奨学生としての資格を失います。「廃止」と認定されると、4月以降の奨学金は振り込まれません。学校の指示に従って、返還開始の手続きをしてください。

■「奨学金継続願」の提出(入力)方法について



※証明書の大学への提出は不要

1. 収入に関する証明書を準備

主として生計を維持している人(父、母、祖父、祖母など)及びその他の生計を維持している人(父、母など)の収入に関する証明書(「奨学金継続願」提出(入力)時点で取得可能な直近のもの)の準備が必要です。

給与所得の場合 (年金・恩給・生活扶助費・失業給付金等による収入を含む)	直近の源泉徴収票 各種証明書(複数の収入がある場合は、合計金額を入力します)
給与所得以外の場合	平成30年分の所得税の確定申告(控)

2. 「『奨学金継続願』入力準備用紙」に回答の下書き

「奨学金継続願」入力中、一つの画面で30分以上経過した場合はタイムアウトとなり、最初から入力しなくてはなりません。誤入力防止や円滑な入力のために、入力前に本用紙中面の「『奨学金継続願』入力準備用紙」を記入し、手元に用意してから入力を開始してください。

3. スカラPSにログイン

スカラPSへの登録だけでは、「奨学金継続願」を提出(入力)したことはありません。スカラPSの登録及び「奨学金継続願」の提出(入力)は、スマートフォンやタブレット端末からも可能です。インターネット環境が利用できない方は、早めに学校に相談してください。

4. スカラPS「奨学金継続願提出画面」から提出(入力)

提出(入力)終了後に内容訂正が必要になった場合は、至急学校に申し出てください(※訂正できない項目もあります)。

年間で支出よりも収入が
36万円以上の場合

現在の経済状況をふまえ、貸与を受けている奨学金の月額が適切か判断する目安とします。
支出に比べて収入が一定額以上多いときには、適切な貸与月額を選択するよう、学校担当者による面接等、指導を受けることになります。

4. あなたは現在家族と同居していますか。

- (1)はい
○(2)いいえ

5. あなたの **2018年12月(2019年4月入学者は2019年4月)から2019年11月**の収入に関する金額を記入してください。

収入及び支出の種類別に記入し、二重に計上しないよう気をつけてください。(金額は1万円未満を切り捨てて記入)

【注意!!】月額ではなく1年間

収入計算のポイント

月額ではなく、1年間(または8ヶ月※2019年4月入学者)の収入を計算してください。

※今年度入学者は4月～11月

【例】毎月3万円ずつ家庭から送金を受け、そのほかに、授業料(70万円)のうち半分の35万円を家庭が直接学校に支払った。残りの授業料(35万円)は、機構の奨学金から30万円を支払い、毎月2万円の長期アルバイト給与と短期アルバイトの給与1万円の中から5万円を支払った。

家庭からの送金 36万円(3万円×12ヶ月※2019年4月入学者は8ヶ月) + 35万円 = 71万円 ⇒ 「1)家庭からの給付」に記入
長期アルバイト 24万円(2万円×12ヶ月※2019年4月入学者は8ヶ月) + 短期アルバイト 1万円 = 25万円 ⇒ 「4)アルバイト等収入」に記入

あなたの収入の種類	百万	十万	万	注意事項 等
1) 家庭からの給付 (家庭が支払った、授業料/施設費等の学校納付金・自宅外通学者の家賃を含む)			万円	・家庭があなたに代わって直接学校へ支払った額も含めて計算してください。 ・自宅通学者の方で家庭が負担した食費や、家庭から一般的に支出される費用のうち、あなたの分として計算することが難しい費用は、収入及び支出から除いてください。
2) 日本学生支援機構の奨学金(自動表示) ※併用貸与者は第一種奨学金と第二種奨学金の合計が表示されます。			万円	以下の奨学金は自動表示に含まれていません。2018年12月から2019年11月に振込まれた金額をご自分で確認し、5.5)「その他」に含めてください。 ・第一種奨学金とあわせて振り込まれた「入学時特別増額貸与奨学金」 ※第二種奨学金とあわせて「入学時特別増額貸与奨学金」が振り込まれた場合は自動表示に含まれます。 ・緊急採用(第一種)奨学金 ・給付奨学金 ・一時金額給付奨学金(24万円) ・辞退した奨学金(併用貸与であったがいずれかを辞退した場合) ・海外留学支援制度(給付型)の奨学金 ・官民協働海外留学支援制度(給付型)の奨学金
3) 日本学生支援機構以外の奨学金			万円	大学・地方公共団体・民間団体などから奨学金を受けている方は、その年額(または8ヶ月分の金額※2019年4月入学者)を記入してください。
4) アルバイト等収入			万円	
5) その他(貯蓄等の取崩額・臨時収入等)			万円	上記5.2)で自動表示に含まれていない日本学生支援機構の奨学金も5.5)「その他」に含めてください。
収入合計(自動表示) ★			万円	

6. あなたの **2018年12月(2019年4月入学者は2019年4月)から2019年11月**の支出に関する金額を記入してください。

種類別に記入し、二重に計上しないよう気をつけてください。(金額は1万円未満を切り捨てて記入)

※H-4. の回答によって、画面表示が異なります。①②どちらかのみを記入してください。

※今年度入学者は4月～11月

① H-4で「(1)はい」を選択した場合→自宅通学者の画面が表示されます。 **【注意!!】月額ではなく1年間**

あなたの支出の種類	百万	十万	万	注意事項 等
1) 学費 (授業料・施設費等の学校納付金等を含む)			万円	【含まれるもの】 授業料・施設費、施設設備費、実験実習費、後援会費、保険料、留学費用 等 ・入学以前に支払った授業料等は、こちらに含めますが、入学金は6.5)「その他」に含めてください。 ・授業料等減免された方は減免後の金額を記入してください。 ・授業料等全額免除された方は「0」を記入してください。
2) 修学費 (教科書・図書費・文具購入費・課外活動費・通学費等を含む)			万円	【含まれるもの】 教科書・図書費・文具購入費・課外活動費・実習旅行費・通学費・部活動やサークル活動費・駐輪場 等
3) 食費 (外食費用)			万円	・外食した時の経費を含めてください。 ・あなたの収入5.1)に、家庭が負担した食費を含めた場合は、その金額も含めます。
4) 通信費 (携帯電話等の通信費を含む)			万円	【含まれるもの】 携帯電話等の通信費用・インターネット費用 等
5) その他 (医療費・娯楽・嗜好費等)			万円	【含まれるもの】 医療費・娯楽費・間食代・理容美容代・自動車学校の講習費・社会保険料 等
6) 機関保証制度の保証料(自動表示)			万円	保証料の合計が自動表示されます。 ※人的保証制度を選択している方は「0.00」と表示されます。
支出合計(自動表示) ☆			万円	

『適格認定』について

あなたが「奨学金継続願」を提出(入力)すると、学校は適格認定の3つの要素に基づいて、あなたに対する奨学金貸与の継続の可否等を判断する「適格認定」を行います。適格認定は、下表の区分に応じて行われます。

※適格認定の3つの要素

(1)人物について

生活全般を通じて態度・行動が貸与奨学生にふさわしく、奨学金の貸与には返還義務が伴うことを自覚し、かつ、将来良識ある社会人として活躍できる見込みがあること

(2)学業について

修業年限で確実に卒業(修了)できる見込みがあること

(卒業(修了)延期が確定した者又は卒業(修了)延期の可能性が極めて高い者等は原則「廃止」となります)

(3)経済状況について

修学を継続するために引き続き奨学金の貸与が必要と認められること

認定区分	貸与奨学金交付の取扱い・学校からの指導等	4月以降の貸与奨学金
廃止	<ul style="list-style-type: none"> 貸与奨学金の交付を取り止めます。(奨学生の資格を失います。) 学校を通して「処置通知」を交付します。 ※貸与奨学金の返還開始の手続きが必要です。	振り込まれません。
停止	<ul style="list-style-type: none"> 貸与奨学金の交付を停止します。(1年以内で学校長が定める期間) 学校を通して「処置通知」を交付します。 ※学業成績が回復した場合は、貸与奨学金の交付を「復活」することがあります。貸与奨学金の交付再開を希望する場合は、停止期間終了時に「奨学生学修状況届」の提出が必要です。	日本学生支援機構からの「処置通知」が届くのは4月の交付日以降です。4月分の振込状況は、ご自分で通帳記帳等にて確認してください。
警告	<ul style="list-style-type: none"> 貸与奨学金の交付は継続します。 学校を通して「処置通知」を交付します。 学業成績が回復しない場合は、「廃止」又は「停止」となることがあります。 	振り込まれます。
継続	<ul style="list-style-type: none"> 貸与奨学金の交付を継続します。 	令和2年4月分の交付日は、4月21日(火)です。

・卒業(修了)延期が確定しているにも関わらず「廃止」又は「停止」と認定されていないことが判明した場合等には、認定時に遡って「廃止」又は「停止」に処置を変更します。その場合は、遡った期間に振り込まれた貸与奨学金を速やかに返金しなければなりません。

■ 貸与中の住所変更について

ご自分の住民票住所を変更された場合は、「奨学金継続願」の提出時に変更手続き(入力)をしてください。

人的保証選択者で連帯保証人や保証人の方が住民票住所を変更された場合は、学校に変更を届出てください。

■ 貸与を終了したい場合の継続願について

令和2年4月以降の奨学金の継続を希望しない方は、スカラPSから「奨学金継続願」を提出(入力)する際に、「奨学金の継続を希望しません」を選択してください。

なお、以下の変更を希望する場合は、前もって学校の定める期限までに必ず申し出てください。貸与終了後の変更はできません。

- ・所得連動返還方式から定額返還方式への変更(第一種奨学金・平成29年度以降採用者のみ)
- ・利率の算定方法の変更(第二種奨学金)

【スカラネット・パーソナル(略称:スカラPS)について】

「奨学金継続願」の提出(入力)はスカラPS(奨学金給付・貸与・返還情報提供サービス(個人向け))から行います。

スカラPSの登録手順について <https://scholar-ps.sas.jasso.go.jp/>



「奨学金継続願」入力画面の推奨環境

OS(オペレーティング・システム): Windows 7、Windows 8.1、Windows 10、iOS 11 以上、AndroidOS 8.0 以上

ブラウザ(ホームページ閲覧ソフト): Internet Explorer 11、Microsoft Edge、iOS 版 Mobile Safari、Android 版 Google Chrome

※ Android は Google Chrome、iOS は Safari にのみ対応しています。

※ OS: Mac 系、ブラウザ: Firefox や PC 版 Google Chrome 等、上記以外の環境下においては未確認のため、動作保証していません。